



2024年2月22日

各位

会社名 株式会社ウィルグループ
代表者名 代表取締役社長 角 裕一
(コード番号：6089 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 高山 智史
管理本部長
(TEL. 03-6859-8880)

連結子会社（フォースタートアップス株式会社）株式の売却及び 特定子会社の異動に関するお知らせ

当社は、当社が保有する連結子会社のフォースタートアップス株式会社（証券コード：7089、東証グロース市場、以下「フォースタートアップス」という。）の普通株式（以下、「フォースタートアップス株式」）の売出し及びフォースタートアップスの今後の事業展開においてシナジーが見込める第三者に対し ToSTNeT-1 を用いた単一銘柄取引による株式譲渡（以下、「本取引」といいます。）を行うことを本日決定しましたので、下記の通りお知らせいたします。また、本取引によりフォースタートアップスは、当社の連結子会社から除外されますので、併せてお知らせいたします。

なお、今後実施されるフォースタートアップス株式の売出しの詳細につきましては、フォースタートアップスが本日付で公表している「株式の売出し、当社親会社による当社普通株式の譲渡、資本業務提携並びに親会社並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

1. 本取引の概要

(1) 株式売出し（引受人の買取引受による売出し）

① 売出しの対象株式	フォースタートアップス株式 1,023,900株
② 売出価格	未定（2024年3月4日から2024年3月7日までのいずれかの日（以下、「売出価格等決定日」という）に決定する。）
③ 受渡期日	売出価格等決定日の5営業日後の日

(2) 株式売出し（オーバーアロットメントによる売出し）

① 売出しの対象株式	フォースタートアップス株式 153,500株
② 売出価格	未定（売出価格等決定日に決定する。）
③ 受渡期日	2024年3月29日（予定）

(3) 第三者への株式譲渡

① 対象株式	フォースタートアップス株式 748,000株
② 売却方法	ToSTNeT-1を用いた単一銘柄取引により行います。
③ 受渡期日	引受人の買取引受による売出しにおける受渡期日と同一とする。

④ 株式譲渡先及び譲渡株数	譲渡先	譲渡株数
	日本交通株式会社	250,000株
	エムスリー株式会社	73,000株
	株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ・ホールディングス	50,000株
	インキュベイトファンド株式会社	50,000株
	株式会社 WiL	50,000株
	株式会社ストライク	50,000株
	寺田倉庫株式会社	50,000株
	株式会社ヤマシタ	50,000株
	Belleisle Japan 株式会社	50,000株
	荒井 邦彦	50,000株
	梅澤 高明	20,000株
	齋藤 太郎	5,000株
	合計	748,000株

※株式譲渡先それぞれの概要については、フォースタートアップスが本日付で公表している「株式の売出し、当社親会社による当社普通株式の譲渡、資本業務提携並びに親会社並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本取引の目的

当社とフォースタートアップスとの資本関係については、当社の子会社である株式会社セントメディア（現 株式会社ウィルオブ・ワーク）において、2013年4月にスタートアップ企業に対する人材支援サービスの提供を目的としてネットジンザイバンク事業部を発足したことに始まります。その後、2016年9月に、業容拡大及び変化の速いスタートアップ企業に対して、より柔軟かつ機動的なサービス提供を行うために、同事業部を会社分割し、株式会社ネットジンザイバンク（現 フォースタートアップス株式会社で当社の完全子会社）を設立しました。展開する事業領域においては、当社は、カテゴリー特化型の人材サービス（人材派遣、業務請負、人材紹介）を主とする人材ビジネスを国内、海外で展開していた一方で、フォースタートアップスは、独自のアルゴリズムを用いたスタートアップデータベースを背景に、当社及び他のグループ会社の顧客とは異なる、スタートアップ企業を対象としたタレントエージェンシーサービスを中心に展開しており、当社及び他のグループ会社とは異なる事業領域で独立した事業運営を行ってきました。

フォースタートアップス設立後の資本関係は、以下の通りです。なお、株式数については、株式分割（2017年10月5日、1株から8.15株、2019年11月5日、1株から600株）日以前についても遡って計算しています。

- ・2017年10月31日にフォースタートアップス代表取締役社長志水氏に234,600株（所有株式数（取得又は譲渡完了時点の株式数）：2,699,400株、当該時点の発行済株式総数に占める割合：92.00%（以下、「出資比率」といい、小数点以下第三位を四捨五入しております。））
- ・2020年3月31日にフォースタートアップス株式上場に伴う売出し600,000株（所有株式数：2,099,400株、当該時点の発行済み株式総数に占める割合：66.99%）
- ・2022年2月16日に立会外分売174,000株（所有株式数：1,925,400株、当該時点の発行済み株式総数に占める割合：55.17%）

フォースタートアップスは、当社グループにおけるスタートアップ人材支援事業を担う重要な子会社であることから、継続して過半数以上の株式を保有してきました。なお、2020年2月6日付公表の「当社連結子会社（フォースタートアップス株式会社）の上場承認及びそれに伴う当社所有株式の売出しに関するお知らせ」に記載の通り、「フォースタートアップスの独立性を尊重し、自律的な経営を支持する方針であり、連結子会社の維持に関して拘りはありません。」としていました。

この度、当社において、今後のグループ経営戦略とフォースタートアップスの経営戦略を照らしあわせてうえて、再度フォースタートアップスの保有方針を改めて検討いたしました。

現状、当社とフォースタートアップスでは、当社グループの経営方針・戦略については、共通意識が保たれるよう努めていますが、ともに上場会社として独立した事業運営を行っております。そのため、フォースタートアップスの事業活動及び経営判断は、自主性に委ねることを基本原則としており、取締役会の構成についても、当社役職員の兼務も2023年6月以降は行っていません。また、少数株主保護の観点から、当社及び当社以外のほかの子会社と同社との内部取引は原則行わない方針にしています。

当社グループの今後の経営戦略についても、国内Working事業については、建設技術者領域、ITエンジニア領域といった人手不足かつ専門性の高い領域における正社員派遣の拡大、外国人管理受託人数の拡大を目標と掲げており、フォースタートアップスが展開する事業領域とは大きく異なっています。

そのため、フォースタートアップスとの資本関係をここで解消することで、こうした親子上場に伴う親会社と少数株主の潜在的な利益相反の懸念が解消され、双方の企業価値の向上にとって最善と考える各種の施策を積極的かつ機動的に実行することが可能になると判断し、本取引実施に至りました。

3. フォースタートアップスの概要

商号	フォースタートアップス株式会社
代表者	代表取締役社長 志水 雄一郎
所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号
設立年月日	2016年9月1日
資本金（2023年12月31日時点）	236百万円
事業内容	成長産業支援事業
従業員（2023年12月31日時点）	188名
大株主及び保有比率 （2023年9月30日時点）	株式会社ウィルグループ 54.14% 志水 雄一郎 6.69%
当該子会社との間の関係	資本関係： 当社の連結子会社です。 人的関係： 該当事項はありません。 取引関係： 該当事項はありません。

フォースタートアップスは、世界で勝負できる産業や企業やサービス、人を創出することを目的とした「for Startups」をビジョンに掲げ、スタートアップ企業に特化した成功報酬型の人材紹介サービスを中核としています。また、国内有力ベンチャーキャピタル（VC）などとの連携により、日本のスタートアップを生み育てるシステムである「スタートアップ・エコシステム」の強化にも取り組んでおり、スタートアップ特化型情報プラットフォーム「STARTUP DB」の運用や官公庁関連事業の受託などにより、同エコシステムのキープレイヤーとして、投資家や大企業、官公庁とスタートアップをつなぐ各事業を展開しています。

4. 当社の保有株式数及び保有割合

	所有株式数	所有割合
本取引前（2024年2月22日現在）	1,925,400株	54.14%
本取引後	—株	—%

※本取引前後の所有割合は、2023年9月30日現在のフォースタートアップスの議決権を有する株式総数に対する所有株式数の割合（小数点以下第三位を切捨て）です。

※本取引後の所有株式数及び所有割合は、「1. 本取引の概要」「(1) 株式売出し（引受人による買取引受による売出し）」に記載の1,023,900株、「(2) 株式売出し（オーバーアロットメントによる売出し）」に記載の153,500株（上限）、「(3) 第三者への株式譲渡」に記載の748,000株を控除して算出しています。

5. 当社業績への影響について

本取引の実施により、売却益（諸費用控除後）として、連結決算では営業利益に約14億円、個別決算では特別利益に約25億円（売却価格を1,455円（2024年2月13日のフォースタートアップス株式の終値）と仮定して算出した概算金額）を計上する見込みです。なお、通期業績予想に対する進捗は第3四半期時点で遅れているため、通期業績予想の変動は軽微な範囲にとどまる見通しです。本取引の条件決定後に、2024年3月期通期連結業績予想の修正により、詳細を公表します。

また、今回の株式売却によりフォースタートアップスは、当社の連結範囲から除外されます。そのため、2025年3月期以降の業績見通しにつきましては、2024年3月期決算発表（2024年5月上旬を予定）に公表する予定です。

また、本取引で得た資金用途については、運転資金や将来のM&A資金などに使用する予定です。

6. 今後の当社とフォースタートアップスとの関係

本取引の実施に伴い、同社は当社の連結範囲から除外されることとなりますが、取引関係への影響はありません。今後も当社は同社との良好な関係を維持していきます。

7. ロックアップについて

引受人の買取引受けによる売出しに関連して、当社は、野村証券株式会社に対して、売出価格等決定日に始まり、引受人の買取引受けによる売出しの受渡期日から起算して180日目の日に終了する期間中、野村証券株式会社の事前の書面による同意なしには、当社が保有するフォースタートアップス株式の売却等を行わない旨合意しております。

以上

この文書は予定されている当社保有のフォースタートアップス株式の売却及び特定子会社の異動に関して一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。投資を行う際は、必ずフォースタートアップスが作成する「株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いします。「株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文は、米国における証券の販売の勧誘ではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集又は販売を行うことはできません。なお、本件においては米国における証券の募集は行われません。